

似島 枇榔の里通信

Vol. 7

発行:平成25年3月28日
発行者:南区魅力発見委員会
(ニノマボタルを育てる里人の会)
〒734-8522

広島市南区皆実町一丁目5番44号
南区役所地域起こし推進課
電話(082)250-8935
FAX(082)252-7179
E-mail mi-chiiiki@city.hiroshima.lg.jp

もくじ

写真で見る活動の足跡	…2
里人の会の概要、里人の声、 24年ホタルの飛翔状況	…3
ホタルかご作りにチャレンジ	…4
コラム「似島の歴史と自然」、 ホタルの撮影レッスン（マル秘テクニック）	…5
里人募集、平成25年度活動計画	…6

写真で見る活動の足跡



除草作業



前

後

田植え



4



3 5



7

ホタル観察会

1. パウムクーヘン作り
2. 星空・昆虫・植物観察
3. ホタルクイズ
4. ホタルの飛翔鑑賞
5. ほたるかご作り
6. 登山・ハイキング
7. そうめん流し



こだわりの水稻栽培体験

おいしい
お米は
天日干し



ハイケボタルは日本の稻作のサイクルに適応してきた昆蟲です。

このホタル池も、50年前まで田んぼでした。ならば、田んぼに戻しちゃえっと、2年ほど前から、試験的に稻を植え始めました。

効果のほどは……確実に数が増えてきた……ような気がしてます。

へえええ～???
機械のない時代には
こんな方法で脱穀してたんだ!
知らなかっただぁ～～
学校じゃあ、
授業ないからなー



乾燥した稻は昔ながらの方法で稻穂を脱穀しました。

似島の自然酵母でパン作り体験

私は、似島に在住し、市内の食料品店でパン作りをしています。酵母菌は、果実・植物の葉等に広く存在し、水分・糖分・温度の3要素が整えば増殖し、時間の経過と共に活性が高まる現象を利用して「酵母パン」を焼いています。



古代人は自然と共生し利用してパンの製法を確立したんでしょう。
自然の奥深さを認識し、パンを焼いていただきたいですね。（小原輝夫）



講師は里人
の小原さん

ニシマボタルを育てる里人の会とは

広島市南区の広島湾に浮かぶ「似島」に生息するホタル。この地に古くから生息しているヘイケボタルやヒメボタルの育つ環境整備をしています。

“持ち出さない、持ち込まない”を活動のモットーに、活動拠点のホタル池とその周辺の除草作業や空地を利用した畑体験、昨年からは水稻の作付にも取り組むボランティアの会です。会員数は約50名。幅広い世代の人々が参加しています。

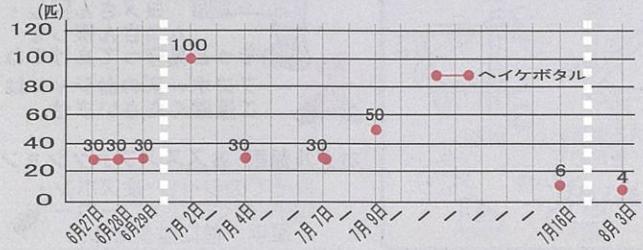
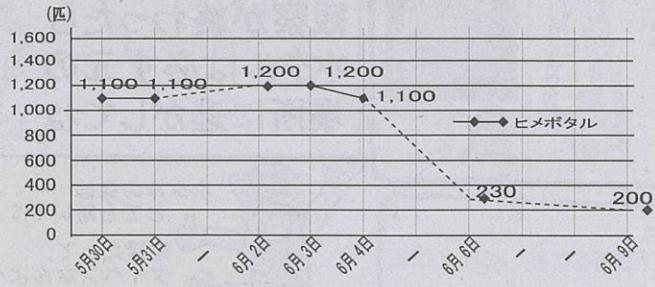


活動拠点の「似島臨海少年自然の家」

年間活動状況(H24年度の場合)

- 4月 ホタル池及び畑周辺の除草
畠地開墾拡張、取水竹樋の架け替え
年間活動計画、観察会の内容検討
役員改選
- 5月 ホタル池及び畑周辺の除草
水稻植付、麦刈り取り、観察会内容検討
- 6月 ヒメボタル観察会(宿泊)
ホタル池周辺昆虫観察、安芸小富士登山
植物観察、ホタルクイズ、星座観察会、
ホタル観察、ホタルかご・バウムクーヘン
・昼食作り(カレー・流しそうめん)
- 7月 ヘイケボタル日帰り観察会
- 9月 ホタル池及び田畠周辺の除草
- 11月 稲刈り、畑野菜植付け、周辺の除草、芋汁作り、
ホタル通信紙面検討
- 12月 ホタル通信編集会議
- 1月 ホタル通信編集会議・新年交流会
- 2月 ホタル通信編集会議
- 3月 ホタル通信編集会議・印刷発行
年間活動計画(案)の検討

平成24年ホタル飛翔状況



里人に聞きました!!

(似島での活動について一言)

一緒に似島に行こうやあへ。
心が安らぐんよ。
(74歳)

自然大好き人間の吉川です。
似島は自然に恵まれたすばらしい環境です。
いつまでも「里人の会」の活動を通じて、島の
自然を満喫したいと思っています。

海が好き、山が好き、
ホタルはどうなんだろう。
ニシマボタルをまだ見て
いないのに参加しています。
でも、楽しいですよ。
(本田)

ニシマハヘイケボタルが
ふんわりと飛んでいるのを見たら、
嬉しくてガツツポーズしちゃいました。
一年の苦労も吹っ飛びます。
さて、今年もがんばろう。
仲間になったみんなとワイワイ
するのも楽しいものです。
(新枝)

今年も
合宿に天文協会
の方をお招きして楽
しくやりたいです。
(土谷)

ホタル以外の活動も
楽しみにしています。
(吉宗)

今回は
お招きいただき
ありがとうございます。
(佐々木)

みんなでやれば草取りもあつとい間!
その後風に吹かれながら昼ご飯を食べ
るのがとても好きです。
今年も沢山のホタルが飛ぶといいです。
(白石)

様々な年代の人が集まってホタルにかかるボラン
ティアをしています。田植えをしたり、野菜を育てたり、
もちろんホタルが住みやすいようまわりをきれい
にしたり楽しくやっています。
(政田)

今年も
去年と同じように
お手伝いできることを
感謝しております。
かわいいニシマボタルの
乱舞をみんなで見
ませんか!
(細木)

似島を知ろうコラム

～異國の地に眠ったドイツ俘虜～

【ニノシマの歴史④】

写真・文責 宮崎 佳都夫

第一次世界大戦（青島戦争）時に俘虜となった約4,700名のドイツ将兵らは日本に連行され、ヴェルサイユ条約発効までの5年半にわたり各地の収容所で幽閉生活を送りました。この内の540数名が大正6年（1917年）2月19日から大正9年（1920年）初頭までの約3年間、似島陸軍検疫所内の一隅に設置された俘虜収容所に収容されました。

この間、俘虜たちは不自由、不便な日常生活を送りながらも、似島収容所内で各種の講習会を開催したり、演劇活動などをを行い、日々過ごしていました。

また、市内中央に赴き広島高等師範学校で音楽会やスポーツ活動（写真①）を行い、さらに広島県物産陳列館（現在の原爆ドーム）では「似島独逸俘虜技術工芸品展覧会」と称するイベントを開催しました。その際、カール・ユーハイムが焼いたバウムクーヘンも出品されました。

ヴェルサイユ講和後に解放された似島収容俘虜たちの一部（カール・ユーハイムなど）は日本国内に残りましたが、大多数は祖国ドイツに帰還しました。

しかしながら、似島俘虜収容所管轄下で亡くなった9名の俘虜は再び故国の中踏むことはありませんでした。彼らの故郷への望郷の念と家族への愛別の情の一端を偲ぶため、また、平和の尊さを改めて噛み締めるため、その氏名等を簡略に紹介します。

- (1) クラフト(Dietrich Kraft) (- 1917) : 2等焚火兵。大正6年(1917年)3月1日大阪衛戍病院で腸潰瘍にて死亡し大阪陸軍墓地に埋葬されました。大阪収容所の俘虜が似島に転収容された同年2月には病気入院中であり、似島へ移動することなく大阪にて死亡しましたが、似島収容管所の轄下にあったため、似島収容俘虜として記載しました。
 - (2) パーペ(Otto Pape) (1885 - 1918) : 後備2等機関兵曹。大正7年(1918年)3月18日死亡。比治山の陸軍墓地に埋葬されました。その墓碑は現在も比治山の陸軍墓地に遺されています。機会をみて足を運ばれては如何でしょうか。（写真②）
 - (3) ロックサー(Alexander Rockser) (- 1918) : 国民軍・後備伍長。大正7年(1918年)7月31日死亡。
 - (4) グララー(Hans Grallert) (1882 - 1918) : 一等砲兵。大正7年(1918年)8月12日死亡。
 - (5) ツエフラー(Albert Zeffler) (- 1919) : 砲兵軍曹長。大正8年(1919年)3月27日死亡。
 - (6) シュルマン(Fritz Schurmann) (- 1919) : 二等砲兵。大正8年(1919年)4月6日死亡。
- 死亡の一年後にドイツのデュッセルドルフの両親の元に遺灰と埋葬時の写真が送付されました。
- (7) ポッター(Karl Potter) (- 1919) : 大正8年(1919年)7月3日死亡。
 - (8) ブリルマイヤー(Joseph Brilmayer) (1886 - 1920) : 予備海軍少尉。大正9年(1920年)1月16日死亡。



写真①

「オトシブミ」って何だろう？



2012.6.9撮影

安芸小富士。標高1200m周辺で、まるで風呂敷包みのようなものが葉っぱの上に落ちていました。これは別名を「ホトトギスの落とし文」（ゾウムシ科の甲虫）といいます。シテ言葉籠（シテワカルモ）は、手紙を書くときに江戸名前（ゆかり）をつけて渡す習慣です。これには、時代の写真が、これか、このことを記録する意味があります。たとえば、紙切れを用いて、それを手紙と一緒に渡すのです。この「落とし文」は、他の道端にうつる人には、それを渡すのです。

沖縄を除く日本各地に生息する。初夏の頃、メスがある特定の若葉を巻いて揺籃を作る。葉を特定の方法で折り曲げ、繋密に巻いて揺籃を作る。そこで、丸みを帯びた直方体をしており、指で触つたくらでは崩れない。ただ、それは、内側に卵が1個だけ産み付けられていたのがわかる。



写真②

秘撮影テクニック

（赤字は必携アイテム）



このくらいの暗さから準備に入ります。

カメラ：マニュアル撮影ができる一眼レフ（フィルムでもデジカメでもよい）

レンズ：開放F値（1.4～4）の28～50mmレンズ、三脚、レリーズ（タイマー機能付き）

その他：ペンライト、セロテープ（ピント位置固定のため）蚊取り線香、折り畳み椅子

* 長時間撮影になるため、蚊取り線香や折り畳み椅子があると安心ですよ！

撮影順序

1.場所選定、カメラを三脚に装着

2.感度（ISO）800、レンズ開放F値（1.4～4）、撮影モード＝バルブ
※ ピントはまだ薄暗いうちにマニュアルで合わせ、その位置をテープで留めておく。

3.ブレ防止のため、レリーズを装着して露出時間を変えて何段階かセットする。
4.ホタルが舞いはじめたら、レリーズをONにし、自動的にシャッターを切る。

表紙写真のデータ

撮影時刻：午後10時
使用フィルム：ISO800
レンズ：50mm、F1.4
露出時間：20分



写真③

（9）ハルプリッター
(Robert Halbritter) (- 1920) : 国民軍・階級不明。大正9年(1920年)1月21日死亡。なお、写真③は収容當時における葬儀の様子の一コマですが、誰の葬儀

かは不詳です。葬送の隊列の最前列左側に立つ髪の男性が脱走王の異名を付けられたアルテルト(Artelt Max)です。アルテルトは大正7年(1918年)8月1日にエステラー(Esterer Maximilian)、モラヴィック(Morawek Rudolf Edler v.)、シャウムブルク(Schaumburg Otto)と共に脱走を企て島内の横鼻(家下地区)辺りの海岸で捕縛され、ヴェルサイユ講和で釈放されるまで広島の吉島刑務所で服役していた事実からすれば、被葬者の断定は出来ないもののパペもしくはロックサーの葬儀と考察されます。

(注) 写真のタイトル及び出典等

- ① カール・ユーハイム（中央列の左端）（エアハルト・アルバム）
藤井 寛氏所蔵
- ② 陸軍墓地に遺るパペ氏の墓碑 撮影者宮崎
- ③ 似島における葬儀（エアハルト・アルバム）
藤井 寛氏所蔵

一緒に活動しませんか？



安芸小富士に登りました



ちゃんと焼けましたがこんなハプニングも…



ホタルかご用の麦を2年連続植え付けて「麦踏み体験」



木を切って日照を確保



スターと遭遇し思わず笑顔



専門家を招いた星空観察



ホタルかご作りにチャレンジ

「ホタル」についての基礎知識

—「調べて、見て、学んで」の参考図書 —



書籍紹介 著者: 小原 玲

12年間にわたりホタル前線を追いかけて撮影された写真はとても美しいです。美しいものを見て感動し、ホタルを好きになり、知りたいと思い、考える。考えたことを人に伝えたくなる。それが「ホタルの伝言」です。



書籍紹介
著者: 大場 信義

ホタルの幼虫が光るって知っていますか？
ホタルが悪臭を放つって知っていますか？
ホタルの生体から1年の暮らしわかる一冊です。
もっとホタルの事を知って、
ホタルが住みやすい環境を私たちが作ってあげましょう！

潮の香りのする海岸線を
ゆっくりのんびり歩こう。
木漏れ日の下、緑の薫る
春秋の軽登山を楽しもう。
フェリーの到着まで瀬戸内
海の小魚を釣るのもまた樂し
い。
似島は疲れた体を癒してくれる都会のオアシス。
私たち里人が見つけた心の
オアシスと一緒に楽しみま
せんか？

☆会費 不要。

(ただし、交通費、飲食代、
観察会時の宿泊費等は
各自実費負担)

フェリー(片道)大人380円/回・人

小学生190円/回・人(平成25年1月現在)

☆入会資格 老若男女、年齢不問。

活動の趣旨に賛同していただける方。

☆服装 作業しやすい服装でご参加ください。

☆お申込み・お問い合わせ先

〒734-8522

広島市南区皆実町一丁目5-44

広島市南区市民部地域起こし推進課

「ニノシマボタルを育てる里人の会」

電話 (082) 250-8935

平成25年度の活動計画(予定)

4月—除草・田植え準備、年間活動計画の検討

5月—観賞エリア内の草刈、田植え準備

6月—1泊2日ホタル観察会(ヒメボタル)

①観察区域内環境整備(取水路整備等)

②星座観察会

③ホタルかご作り

④バウムクーヘン作り体験など

7月—1日帰り観察会(ヘイケボタル)

9~10月—稻刈り「秋の収穫祭」

2月—麦踏み、機関紙発行